

第9回各務原市地域公共交通会議 議事録

日 時	平成28年3月28日（水） 13：30～14：30
場 所	各務原市役所 産業文化センター 8階第1特別会議室
委 員 (敬称略)	【出席】 武藤 行儀 （岐阜乗合自動車株式会社） 山田 勝美 （株式会社岐阜バスコミュニティ取締役社長） 近藤 博之 （名鉄バス株式会社運輸部長兼運輸計画課長） 福田 英司 （東海旅客鉄道株式会社鉄道事業本部総務課課長代理） 夫馬 康昌 （名古屋鉄道株式会社西部支配人室営業総務課長） 澤井 利之 （岐阜県タクシー協会）（代理:福永吉一） 岡本 朋大 （岐阜交通株式会社常務取締役） 山田 芳喜 （社団法人岐阜県バス協会） 熊崎 敏雄 （各務原市自治会連合会会長） 花木 春雄 （各務原市自治会連合会副会長） 林 修 （各務原市自治会連合会副会長） 小川 清 （各務原市自治会連合会副会長） 河野 加代子 （市シニアクラブ連合会理事兼女性部会部長） 足立 千春 （子ども子育て会議委員） 野口 欣司 （中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画専門官）（代理:下平） 古田 茂 （岐阜バスコミュニティ労働組合） 中村 澄之 （岐阜国道事務所管理第一課長） 早崎 辰仁 （岐阜土木事務所）（代理:川上正治） 加藤 仁彦 （各務原警察署交通課長） 国島 英樹 （岐阜県都市建築部公共交通課長） 横山 富士雄 （各務原市議会経済教育常任委員長） 柘植 藤和 （各務原商工会議所専務理事） 倉内 文孝 （岐阜大学） 浅野 健司 （各務原市長） 磯谷 均 （各務原市副市長） 【事務局】 各務原市 産業活力部商工振興課

・ 報告

- ①リニューアル運行後の利用状況について
- ②公共交通の利用促進策の取り組みについて

・ 議事

- ①平成27年度会計補正予算及び決算見込みについて
- ②平成28年度事業計画（案）について
- ③平成28年度予算（案）について
- ④地域公共交通調査事業（計画推進事業）について

・ その他

浅野市長 開催の挨拶

改めましてこんにちは。本日は年度末のお忙しいところ今年度3回目となります第9回各務原市地域公共交通会議にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。今回から人事異動によりまして、各務原警察署交通課長滝瀬さま、また各務原市議会からは経済教育常任委員会委員長の津田さまにも新たに委員としてご出席を賜ることとなりました。よろしくお願いいたします。皆さんご存じの通り約2年間かけて見直しを進めてまいりましたふれあいバスでございますが、昨年10月1日に雨の中ではございましたけれどもリニューアルのスタートということで、そこから概ね順調なスタートを切りだしたところだという風に思っております。これも一重に皆さま方のご理解とご協力そしてご指導ご鞭撻の賜物であると改めて感謝を申し上げるところでございます。そしてリニューアル後の運営に付きましては、特に岐阜バスコミュニティさま或いは岐阜交通株式会社さまには安全運転、そして利用促進の取り組みにつきまして格別なるご協力を賜り本当にありがとうございます。

本日の会議では、リニューアル後の利用状況の報告また今年度実施をいたしました利用促進の取り組みについてのご報告、更には来年度の事業計画等についてご審議をいただくこととなっております。ふれあいバスの再現によりましてよくなったまた便利になったという声がある一方、一部の方からはやはりダイヤの見直しやルートの見直しについて更なる回線を望む声というものもあるのが実情でございます。来年度末のちょうど1年後くらいになろうかと思えますけど29年3月には、ただ今建設を進めております鵜沼市民サービスセンターが完成し、現在乗継拠点となっております鵜沼福祉センターのバス停を移設したいという風に考えておりますが、合わせて様々なご意見を頂いている部分についても調査或いは懇談会などを実施しながら微修正を検討していきたいという風に思っております。いずれにいたしましても今後も交通事業者市民の皆さまと共に行政としても公共交通の維持そして活性化に向けしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。本日は限られた時間ではございますけれども是非とも慎重なご審議をお願いいたしまして私からの開催のあいさつとさせていただきます。本日もお世話になります。どうぞよろしくお願い致します。

・報告①

説明補足

(ふれあいバス)

<岐阜バスコミュニティ 山田>

路線再編後のご利用頂ける人員は増加しております。以前は長大路線で、地域ごとの路線に今回細分化したことによりまして、大幅な遅れが減少しました。当初懸念しておりました、各路線の乗継ぎも問題なくスムーズに行なわれているという風に思っております。

その他、アユカカードをご利用していただいている方のデータではございますが、現在4%から5%の方が乗継ぎにてふれあいバスをご利用して頂いております。またQRコードや岐阜バスナビにてバスの運行情報確認できるサービスをご利用して頂いている人数は約月4千から5千人の方がおみえになっていきます。

今後も安全で安心な快適にふれあいバスをご利用頂けるように共にアユカカード、バスロケーションシステムをご利用して頂けるようなPR目的の評価をしましサービスをご利用頂けるような取り組みを行ってきたいという風に考えております。

(ふれあいタクシー)

<岐阜交通 岡本>

ふれあいタクシー運行開始からほぼ半年がたち、大きなトラブル・苦情もなく順調に経過していると思っていますのではないかとっております。運行回数、ご乗車人数も緩やかではありますが、顕著に伸びていっていると思っております。3月度もまだまだ途中ですが、おそらく過去最高の運行本数になろうかといった経過でございます。

私どもは他の地区でもデマンドタクシーを運行させて頂いておりますが、実は運行開始の10月にこれだけのご利用があるとは思っておりませんでした。これはやはり事務局の方の丁寧ないろんな地区での説明会があったり、前後にチラシを配布したりといった効果が大きかったのではなかったかと思っております。

その事からも、口コミが大事だと痛感しております。我々事業者としましても受けセンターでの親切丁寧な対応、実際にご乗車されるタクシーでの乗務員の丁寧でしっかりとした対応がこれからふれあいタクシー運行の成功に繋げて行ける一番の近道だと思っております。これをしっかりと継続・質の向上を図って参りたいと思っておりますのでございます。

説明補足

(免許自主返納)

<各務原警察署 瀧瀬>

自主返納につきましては、ほかの署でも同様に若干伸びが見られ、高齢者の事故が増えているという事で伸びを見せています。各務原市内は特に多いということで、更にこういう制度を拡充させて頂いて延ばして頂きたいなと思っております。

昨年も高齢者の死亡事故は、大変多ございました。死者の概ね6割を占めるといった状況で、今までは高齢死者というと歩行者であり、いわゆる弱者的な方が多かったです。しかし、今度自動車を運転しながらぶつかって亡くなるといった方も増えてきております。そこでどうしても免許早期返納対策というのが地域の高齢者の安全を守る意味でも必須になっております。

きめ細かい計画を今日は報告になっておりますけど、また来年度以降もきめの細かい計画をご協力いただきたいと思います。

(イベント)

<岐阜県バス協会 山田>

公共交通会議でいろんな市町さんで同じようなことやってみえます。大垣市、高山市、中津川市、多治見市等で協力させて頂いております。これからもどんどん協力させて頂きたいと思いますので、よろしくお願い致します。

(イベント)

<名古屋鉄道 福富>

4月9日に各務原市さまと一緒にゴールがこちらの各務原市役所駅前になりますハイキングでも公共交通機関のPRと一緒にやれたらいいなと思っております。

※委員からの質問や指摘事項は、なし

・議事①～④

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
議事② ＜倉内＞ ● 調査事業の実施のところでOD調査の実施という項目が入っていたと思うんですが、今回アユカを入れたということ、ふれあいタクシーの方もおよそのリクエストするという事なんで、その辺のデータを使えばODはおおよそ把握できるのかなと思っていたんですが、新たにこれは実施するという事でよろしいですか。	＜事務局＞ ● アユカカードの利用率ですが、20％前後という事でございます。一部のデータとしては他の地域よりは沢山の方にご利用頂いているところではございますが、データとしてはまだ数値が低いという事で、全便・全時間帯乗入れによってODを取っていきたいと思っております。その時に合わせてODを取り、利用者のヒアリングをしながらアンケートをお渡しするという作業もセットで考えております。夏の時期に限られた日数ではありますが、こちらの調査の方を行ってまいりたいと思います。 ● ご指摘いただいたアユカの方のデータを岐阜バスコミュニティさんの方から頂き、それを補間資料として使おうと思っております。

説明補足
議事④ ＜岐阜支局 下平＞ 去年の秋の10月から新年度の9月運行赤字に加えまして、こちらのソフト事業でも、いろんな利用促進の取組みを応援させて頂く事で、事務局の方々と準備中です。形成計画の中身が確実に実行されるように、国としてもささやかですがお手伝いさせて頂ければと思っております。

倉内先生 総括

図1のところにありました利用者の方が10%程度増加しているというところで、本来は、途中でもコメントさせて頂いたかもしれませんが、今回の乗継ぎを前提にしているところですので乗継ぎのパーセントと一緒に見ないとちょっと注意しないといけないという話しはさせて頂きました。ですが、先程岐阜バスコミュニティさんの方からの報告があった通り乗継ぎが4%から5%という事ですので、おそらく乗り継がれる方はアユカを使われている方が多いと思うんです。割引きのところもございますから。そう考えますとやはり純増というのも多かったんじゃないのかなという風に思いますので、非常に良かったかなと思っております。今後も随時チェックして頂いて、この利用促進に努めて頂ければと思います。

アユカはまだまだ利用者の方が20%程度でいうところで、このパーセントを出来るだけ上げて行くことがODの調査をしなくともおおよそ常時モニタリングが出来ます。或いは是非今後やって頂きたいのは、乗り継がれている方が、どの便からどの便へ向かって乗り継がれているのかというところをチェックして頂くと、我々が乗り継げるとして作った便に対して上手くニーズがあっているところとあっていないところが分かってくると思います。そんなところを見て頂く事で、また利用者の方にも喜んで頂けるようなサービスがあるんじゃないかなと思います。途中でもありましたように、乗り継げなくなったんだという様なご指摘も頂いているという事ですので、そのご指摘もスケジュールというか時刻表と共に確認を頂ければと思います。

ふれあいタクシーのサービスというのは、どちらかというと仮想ダイヤの様なものがあって、方向がおおよそ決まっているのであれかもしれませんが、稼働率を見ますと90数パーセントまで上がっている様な時間帯があるということは、もしかすると沢山の方が使いたいというケースもあるのかなと思います。今後もし、そういった時にお断りをせざるを得ないようなケースで、タクシーいっぱいになっちゃいました、或いは違う方向へちょっと向いちゃっている関係でそこまで回って行けません。なんてことが出てくると、またそれはそれで問題になってきますので、そういったお断りをしてしまったりとか、もし事実があれば、そういったこともしっかりと記録していただいて、今後の改善に繋げて頂ければという風に思います。

最後に利用促進のところは、本当に沢山もともと沢山メニューを記載していたというのもあるんですけど、それを着実に進めていてくださるという事で、非常にいいんじゃないかなと思いますので、これからもよろしくお願いします。